

埼玉経済



くぼた・よついち 51年静岡県生。東京大学大学院修了。工学博士。環境計画・景観設計を軸に研究。教育に従事。雷電甘木橋のデザインを監修し土木学会デザイン賞最優秀賞受賞。埼玉環境審議会長等要職を歴任。東京ゲートブリッジや与野本町駅西口広場のデザイン監修等地域貢献多数。『昭和の刻印―変容する景観の記憶』柏書房刊他著書多数。

サイ・テク 知と技の発信

[267]

埼玉大学・理工学研究の現場

■変容した土地の姿

昨年『昭和の刻印―変容する景観の記憶』という書籍を上梓して間もなく、埼玉大学連続市民講座「過去から見える、埼玉の未来への講演を依頼された。現代日本の礎を築いた昭和の代表的な社会基盤施設を論評した同書に準じて、埼玉版の事例を盛り込み講演に臨んだ。同書は景観の変容が生んだ風景の解

体を考察する箇所がある。連続市民講座で未熟な持論を披瀝したところ来場者から「景観と風景の関係がとてもしっかりやすかった」とのお言葉を頂いた。景観は明治期に植物社会学者の三好学が独語の「Landschaft」の訳語とした字句である。英語の「landscape」はオランダ語の「土地であること」を意味する「Landschap」から派生

風景を生む景観の様相変異

窪田 陽一 理工学研究科 教授

したと言われる。景観は人間が関与し変容した土地の姿を意味する言葉なのだ。

一方、ルネサンス後期頃に風景画というジャンルが欧州で誕生した。画家の眼差しが景観に向けられ情豊かな風景を描いた絵画だが、紛らわしいことに「Landscape」と同じ語が用いられた。この英単語がオックスフォード英語辞典に初めて収録されたのは1598年版だといふ。他方、中韓日などの東洋では西洋より早く山水画という風景画が生まれた。五世紀頃の書物『世説新語』には風景という言葉が収録されているといふ。

■人間が体験する現象

一足飛びに現代の観点から見れば、景観として風景は共に人間が体験する現象であり脳の中で生起する。今世紀に入り、ある範囲の土地の景観が何らかの様相変化により趣を異にし、観る者の心に情緒的感興が生じる現象を「景観の風景化」と考える論考が世界各地で人文社会や

理工の分野を問わず学術研究として公表された。風景は景観から生成されるという仮説の下、景観と風景を統合的に理解し説明する思考が登場したのだ。

それらの論点をかみ砕きつつ試論を組み立てる過程でコローリ（Corollary）という言葉が浮かび上がった。人間が観察可能な事柄を現象として捉え、その成立条件や因果関係の変位で必然的に生起する随伴的な事象群を包含する概念と解釈した。景観と風景は同位体のような現象で、景観無くして風景は生まれぬが、風景が生まれぬ景観は殺風景と言われる。

■景観の風景化

景観の風景化はどのような時に起るか。景観現象の構成要素の様相に着目しモダリティ（modality）として捉えてみよう。モダリティは視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の五感に対応する変位のモードを持ち、さらに下位のモダリティが分岐する。例えば視覚のモダリティは

形状、陰影、色彩、テクスチャーなど下位モダリティを随伴し、文化的コードに基き意味が解釈される。

だが風景を生む景観の構成要素の様相変位は扱いが難しい研究対象で課題も多い。例えば街並みの秩序を目指す各地の景観条例に定める色彩の規制は、2色以上の複数の色彩の組み合わせの制御には至っていない。景観構成要素の様相に関わる色彩は風景化に関わる重要なモダリティの一つだが、現実の景観は多様な色彩があふれ、さらに文化的な意味等の属性も加わり、一筋縄では行かない。

だが氾濫する色彩の制御手法を求めて、大学院生諸君と共に膨大なデータの収集・記述手法や分析指標の案出、仮想イメージの表現方法等、創発的に基礎研究を行う意義はある。景観と風景を科学的に思考し地域の景観を整える方法論の研究は、文理融合の学術領域を醸成する揺籃期にある。

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048・795・9161 FAX 048・653・9040
keizai@saitama-np.co.jp